



救急医療功労者として埼玉県知事より表彰！！



令和元年9月12日に知事公館にて当院の吉永圭吾院長が、救急医療功労者として埼玉県知事より表彰されました。

院長に就任以降、救急告示医療機関・第二次救急病院群輪番参加病院として、埼玉県東部南地区の救急医療体制の役割を担い多くの救急患者を受け入れていることや、地域における救急医療体制の充実に尽力していることが認められて受賞となりました。

今後も吉永院長を中心に職員一同、地域住民の皆様が健康で安心した生活を送れるよう消防隊・救急隊・病院の連携を強化し、地域医療の発展に努めて参ります。 事務長 池田 睦

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

病院理念
基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。



当院は、敷地内（駐車場含む）禁煙です。ご理解、ご協力の程お願い致します。

保育室が新しくなりました！



2019.4月の新棟完成とともにあおぞら保育室も新棟の1階へ引越しました。

旧あおぞら保育室が設立されてから約10年間、多くの子供たちが利用してきました。新しい保育室になるのは嬉しい、楽しみの反面、旧あおぞら保育室がなくなってしまう事に少しさびしい気持ちにもなりました。

私たち働く親、子供たちにとって、あおぞら保育室は第二の家であり、安心して生活できる場所です。新しい保育室に引越したばかりの頃は旧保育室が恋しく泣く子もいましたがすぐに慣れ、綺麗で広い保育室を走り回り元気に楽しい生活を送っています。

年齢でクラスも分かれ、毎日の日課活動が決まっています、昼食のメニュー表があり親が確認できます。お散歩コースもルートが提示されていてどのコースをお散歩したのか帰りに先生が教えてくれるので安心します。勤務を終えて迎えに行くとき私に気付いて嬉しそうに走ってくる子供の姿を見ると疲れも飛び、癒されます。

時には先生との遊びに夢中になりお迎えに行ってもまだ帰りたくないと言われることもあり困ることも。「また明日ね。」の約束をして帰る子供は先生と遊んだ話を嬉しそうに話してくれます。子供達だけでなく私達親の育児の相談にもものってくれ話を聞いてくれる先生達なので育児の先輩としてなんでも相談しています。仕事と育児を両立することは簡単ではなく毎日バタバタです。そんな中で1日の子供の様子を教えてもらえると安心するし頑張れます。これからも安心して子供を預けられる場であってほしいと思います。

外来 大野久美子



リフレッシュ研修

教育研修委員会では、毎年7～8月に新入職員を対象としたリフレッシュ研修を行っています。新入職員が心身のリフレッシュを図ること、親睦を深めることを目的としています。

研修前半は「信頼される医療従事者になるためには何が必要か」班毎に話し合いました。自分の考えが広がり今後の目標が明確になったという感想が多く挙がりました。研修後半は野外でバーベキュー！残念ながら雨天でしたが、一時青空も見ることができました。

全体を通じて交流を深めることができた、今後仕事でコミュニケーションがとりやすくなったと好評でした。来年度以降も、改善・改良を加えつつ継続していきたいと考えています。 薬剤科 浅子由衣



建て替えについて

病院のホームページで、新本館の建設の様子をご覧いただけるようになりました。



診療統計 2019年 5月～10月(月平均)

■ 外来延べ患者数	33,890名(5,648名)
■ 入院延べ患者数	32,147名(5,357名)
■ 一日平均外来患者数	227名

■ 救急搬入数	1,264名(210名)
■ 紹介患者数	1,556名(259名)
■ 手術件数	925件(154件)
■ 内視鏡件数	851件(141件)